

# かたつむり通信

第2号



発行：2008年3月24日

しながわチャイルドライン

運営委員会

品川区西大井 2-10-14

TEL/FAX 03-3773-1929

## ～「しながわチャイルドラインのながれ！！」と、私の気持ち～

区の社会教育委託学級の品川の教育を考える会「一言会」が発足し、進めていくうちに、何か今の子供たちの気持ちを受け止める方法はないのか？と模索している中で、電話でなら、子供たちも自分の本当の気持ちを言ってくれるのではないのか？その中から今の子供たちに何が起きているのか、起ころうとしているのか？少しでも分かるのでないか。そこから始めてみよう！と意見が纏まりました。

世田谷で始まったチャイルドラインが、その頃、目黒でも始まろうとしていました。まずは、勉強してみよう。幸い当時のメンバーに目黒区の方がいたので、話を通してもらい、目黒CLの立ち上げに参加させて頂きました。立ち上げ方で、とても勉強になりました。品川独自のやり方で行きたいと云う気持ちから、「品川ほっと！ライン」と命名しました。

2003年10月には、週一回金曜日の午後7時～10時の常設も始まりました。この時間帯を決定するに当たり、午後6時から次の日の午後6時までと24時間体制を実施しました。これは私達にとって、とても無理がありました。無理はいけない。電話を受けるには常に精神的に健康で、気持ちが穏やかでなければならないのが鉄則です。そのためには、自分達がどうあるべきか、チャイルドライン実施のなかから多種多様な条件をつかんで行きました。やがて2年3年経つに従って、組織としてしっかりしたものにするには「ほっと！ライン」から全国的なチャイルドラインへ所属しさらに、研修を積み、向上して行く為に、「しながわチャイルドライン」として、再スタートを切りました。

あれから6年、1月のキャンペーン、5月のチャイルドライン実施と続き、常設と並行しながら、新人の電話受け手募集、研修を企画し、今に至っております。嬉しい事に最近、若い学生達も真摯に研鑽を積み重ねて行ってくれています。一生懸命なだけに私達が見過ごしてしまった事も再認識させてくれています。これは、貴重なことです。

研修では、ロールプレイなど実際にこういう電話が掛かってきたら、先ず何と答えるかという訓練をする事があります。例えば、「つらい。」「死にたい。」という電話が掛かったら最初に何と、答えればいいのか？とても難しいことです。そして、何か話してくれたら、「それは、辛かったね。」と共感できたらいいですね。相手が泣き出してくれたら、張り詰めた気持ちも半減してくれるのではないのでしょうか。そんな気持ちでチャイルドラインを微力ながら手伝わせてもらっています。（顧問 大嶋国枝）

## ◎ チャイルドラインとは

18歳以下の子どもが、誰にも話せずに悩んでいた、誰に相談したらよいかわからないと時に、掛ける子ども専用の電話です。

①秘密は守る ②名前は言わなくていい などの約束があり研修を受けた受け手が真剣に子どもの話を聴きます。話を聴いてもらうだけで次の1歩を踏み出せる子も沢山います。この電話が要らなくなる日を願いながらチャイルドラインは子どもたちの心を受けとめ続けます。

しながわチャイルドライン Tel 3494-8872 毎週金曜日 午後7時～10時

**\* (5月から9時半までとなります)**





# かたつむり コンサート

☆12月11日(火) 夕刻より ♪かたつむりコンサート♪ ついに開催

師走にもかかわらず、会場にはあふれんばかりの方々をお迎えし、和やかにコンサートを開くことが出来ました。皆様から頂きました、温かいご寄付はこれからの活動に大切に活用させていただきます。

また、服部優美子様・水越小百合様のボランティア出演には心より感謝いたしております。

皆様のご協力まことに有難うございました。

## (感想)

・普段は、日々の生活に追われ、ゆっくりと静かな音楽に耳を傾けることなどないので、とても貴重な2時間を過ごせました。体の中まで響いてくる声とピアノの旋律の中で、おいしいフード&ドリンクをいただき、また明日からの生活に活力をいただくことができました。  
(田代さま)

・飲みながら、食べながらクラシックを聞いたのは初めてでした。こんな音楽会も和やかでいいもの、クラシック音楽がぐっと近づいたような、感じで楽しめました。  
(Yさま)

・若いお嬢さんの歌声とピアノの素晴らしさはもとより、何よりも、司会やスピーチをされた方、裏方を引き受けてられる方々がとても優しく穏やかそうで、だからこそ子供の問題を真摯に考えておられるのだ、と印象深く感じました。それにしても師走に、楽しい時を有難うございました。  
(東内さま)

・2人でよりよい音楽を届けられるように作品をつくりあげてきました。多くさんの方のご来場とご声援ありがとうございました。これからも、よりよい音楽を伝えていくことができたらと思っています。  
(出演の方)

## ☆ 2007 宿泊研修会 ～富士桜荘にて～

6月23日～24日、富士の裾野の河口湖畔で  
しながわチャイルドライン宿泊研修会が行われました。  
盛りだくさんの研修でしたが一部をお伝えします。

梅雨の晴れ間の清々しい空気の中で……。まず、並木氏による脳トレ風ワークショップ「自己理解」スタート。程よく和んだところで、末松先生による「受容と共感Ⅰ」、その中で、苦手なロールプレイをみんなの前でちょっとブルーになりながら担当しました。

夕食はゆったりとしたお座敷で和気あいあいと、食後は散歩や温泉を楽しみ、間近に見える富士の頂に感嘆しながらしばしのリラックスタイムをすごしました。

夜は「受け手電話に対して思っていること」について意見を出し合いました。夜も更け、合宿の醍醐味、ミッドナイトフリートークへ突入！語らいは夜が更けるまで続けました。

2日目は、「受容と共感Ⅱ」へ……。輪になって語り合いました。最後に、ゲッシュタルトの哲学より、末松先生が抜粋された9つのことばが読み上げられて、研修は締めくくられました。

今回は、チャームでフレッシュな学生さん4名の参加を得て、元気あふれる合宿でした！！(会員 Kei)





## ○「受け手7期生」を募集します○

家庭や家族とのこと、学校や友達のこと、性格や身体、性のこと、将来のこと・・・、身近な人に中々話せないでいる悩みや思い。そんな色々な思いを聞いてくれる人が居たら、子どもはどんなにかほっとできるでしょう。

電話だからこそ聞ける「ありのままの子どもたちの声」にしっかりと耳を傾けてみませんか？

### 【しながわチャイルドライン公開講座】（費用 資料代 各回100円）

- 期日 6月28日～8月2日（全7回）  
6/28・7/5・7/6・7/12・7/19・8/2 午前10時～12時 7/23午後7時～
- 会場：品川ボランティアセンター 3階会議室（予定）
- 問合せ 09-3773-1929（徳江まで）
- 主催：しながわチャイルドライン
- 後援：品川区教育委員会・品川区社会福祉協議会

### 【しながわチャイルドライン7期研修講座】（費用 8000円）

- 期日 9月5日～10月10日（全6回）  
9/5・9/12・9/19・9/26・10/4・10/10 午後7時～8時半
- 会場・主催・後援等上記と同じ

## ☆秋の全国キャンペーン（フリーダイヤル）報告 2007/11/1～11/30

～子どもたちは「つながる温かみ」を求めていると感じた1ヶ月でした～

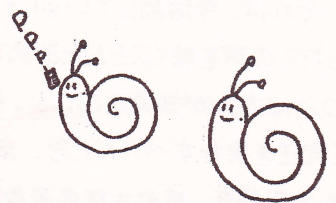
キャンペーンならではの様々な電話が全国各地で聞かれました。フリーダイヤルでよかった！

全国で受けとめた「子どもたちの声」は18738件（総アクセス64984件の28.8%）携帯50%以上

品川では、内容としては、人間関係やいじめが40%強をしめました。

今回は4時からの実施で、低学年からの電話が多々ありました。今は7時から開設ですが、今回の状況を受けやはり、早い時間からの必要性を痛感しました。現在の会場では7時以前の開設はできにくい状況です。

私たちに場所を提供いただける方、企業、商店空ビル等ございましたら連絡下さい。



## ☆坪井節子先生の公開講座「いじめ・虐待・子どもから教わること」を聞いて

特に実際に坪井先生に寄せられた男の子の「いじめ」を例にあげての話が印象的であった。

「勉強命」で育ってきて、同じ目的意識の子供が集まった学校では、お互いに人との関わり方、心の距離の取り方がわからない。

そこで常に存在しているのが「いじめ」である。先生は「どちらにも加担することも出来ない、中立である」というが、その中立であるという立場もまた、加害者である。いじめられた子どもは、自尊心が低減し、それでも「勉強命」であるが故に学校には行かなければならないと考える。親に相談しても「がんばれ！」なんていわれ親への信頼さえもなくなっていく。

その時、その子はこう思った「そうだ、死のう」。この自殺は未遂で終わり、親はこの時ことの深刻さにやっと気がついた。

本人は、後日談として印象的なことを言った。「死とのハードルを感じなかった。」そしてTVで言われていた大人の言葉に関して「『死ぬ勇気があるならいじめに立ち向かえ！』ほど腹のたつたことはない、僕はどうしようもなかったから死のうとしたんだ。」

坪井先生はその話を、何もできなかったけど、聞いてあげた。そして「こんなに話を聞いてくれた大人は始めてだよ。」と言ってもらった。その男の子は学校に自分の受けた体験を伝えることを望み、その時になり「はじめて、私は代理人として直接動くことが出来ました」と。そして「きちんと話を聴く大人がそばにいれば子どもは自分で立ち上がれる」と熱意をこめ、涙ながらに話された。

よりよい、話を聞くだけではあるが、そこに大人と子どものパートナーシップが形成されているのだろうと思った。（会員 NAMIKI）

**\*坪井節子氏** 弁護士・子どもの人権救済に関り、カリヨン子どもセンター理事長 著書に「子どもの人権双書」などがある。



## 「大田堯先生訪問記」

### 自ら変る力を育てる

～人は自然や他者との関りのなかで学び生きる～  
2008年1月13日、大田堯先生のお宅を訪問しー  
今、子どもの育ちに何が必要かー、お話を聞きました。

1918年生まれの先生は、今年で90歳を迎えられ  
るそうですが、とても生き活きとされ、年齢よりもずっと  
若く感じられました。

戦争を経験され、戦後の混乱期を経て子ども達や若  
者の教育について強く関心を抱く大田先生のお話の中  
で、「人間は色々なことを選んで生きている。その中で  
選び間違いもある。失敗しながら獲得していく」「不完全  
な人間だからこそ知恵を出し合って生きていく」という言  
葉が心に残りました。

私は先生の言葉からどんな形で子どもたちに関って  
いけるか考えました。

それは、今活動している「チャイルドライン」で、子ど  
もたちの声を聴くことだと改めて感じました。子どもたち  
の為に大人が知恵を出し合い、豊かな社会を築してい  
く責任を果たすべきだと思いました。(会員 ITOU)

\* 大田堯氏 東京大学名誉教授・元都留文化大学学長  
「教育とは何か」「生命のきずな」  
「はらぺこ青虫と学習権」等



## 「子どもたちはこうして



### 人生を学びます」

～ドロシー・ロー・ノルト作～

許されて育った子どもは広い心を学びます

励まされて育った子どもは自信を持つようになります

誉められて育った子は感謝することを学びます

公明正大に扱われて育った子どもは正義を学びます

安らぎの中で育った子どもは信頼を学びます

認められて育った子は自分を愛することを学びます

\*この詩は、知人の船橋邦子さんより、お花見のお誘いと  
共に、送られてきました。

船橋さんは、佐賀のアバンセ(男女参画センター)初代  
館長で現在は、和光大学人間関係学部教授、また地元の  
千葉で「DV 被害の女性や子どもたちの支援」活動をされ  
ています。(会員 KITAJIMA)

## しながわ チャイルドライン

(ハ・)

### 子どもの日チャイルドライン キャンペーン

5/5～5/11 昼3時～夜9時

TEL 0120-99-7777

「電話だから話せるね! 待ってるよ。」



毎週金曜日  
16時～19時 3785-4152  
19時～21時半 3494-8872

\* イオンの黄色いレシート集め活動…沢山集まっています。  
只今、第3位、重要な活動資金です。有難うございます。

### ☆会員募集中!!

正会員、賛助会員(一口2,000円)を募集しています。  
(電話の受け手、渉外、PH・通信作成、庶務、資金調達等など)

\*会へのご入金は郵便振替用紙をご利用ください。

口座番号 10140-49291081

口座名 しながわチャイルドライン

E-mail: sinagawachildline@hotmail.com

### 編集後記



(by Y-K)

鮮やかな黄色い菜の花が春の喜びを伝える季節。れんげ  
草とともに子どもの頃のかなつかしい思い出の花。

今の子ども達は春を何で感じるのでしょうか?

もう卒業式。そして4月には新学期が始まります。

子ども達が身体を使って遊び、道具を使って創り、感動し、  
人と共感できる。そんな地域ごと、私達も楽しく「かたつむり」  
の歩みを続けていきたいと思ひます。

皆様のご意見、ご感想、ご協力等、お待ちしております。

